

だれでもトラックELFmio CROSS STYLEをGREEN KEEPERがお試し

GO OUT

シゴトも、趣味も。



ELFmio
CROSS X STYLE
CONCEPT 2026

植物も道具もガンガン積んで、使い勝手をチェック!

平日はオフィス、
店舗、展示会を回って
植物をお手入れ。
週末は波乗りへ。



SOLSO KEEP GREEN
池谷 翔大さん

園芸業界の枠を超えて幅広いシーンから支持を集める SOLSO (ソルソ) で、店舗やオフィス空間へのグリーン施工や植物のメンテナンスを行うチーム KEEP GREEN のリーダー。趣味はサーフィン。



キャリア後部のアームは可動式。後ろに起こせば長尺物をがっちり固定。前に畳めば高さのある荷物を積載可能に。

シゴトも趣味も加速する、 トラックがさらに進化。

平日は仕事でハードに使ったトラックに、週末は趣味の道具を積んでそのまま遊びに行く。そんなライフスタイルを提案するのが、いすゞの小型トラック「エルフミオ」を

ベースに、仕事でも遊びでもガシガシ使える仕様に仕上げたコンセプトカー「ELFmio CROSS STYLE CONCEPT」。2025年に発表されたコンセプトカーからさらに進化を果たして、特に造園業などにもってこいな、仕事での使いやすさに磨きをかけている。

今回はこのクルマを、アウトドアブランドの店舗からグローバル企業のオフィスまで、グリーンの施工・メンテナンスを手掛ける SOLSO の池谷翔大さんがデイリーワークでリアルにお試し。植物や仕事道具をガンガン積んで、トラックカスタムの無限の可能性を体感した。



ELFmio CROSS X STYLE CONCEPT 2026

1.9L ディーゼルエンジンと6速ATを組み合わせた小型トラック「エルフミオ」の上級グレード「SE カスタム」をベースに専用外装アイテムやハードカーゴ社製キャリアを架装。普通小型トラックではいすゞだけのスペースキャブとの相性も抜群。

■車両概要

車名	エルフミオ スペースキャブ
免許区分	普通免許(ナンバー区分 4ナンバー)
寸法(mm)	全長4,690 全幅1,690 全高1,960
エンジン型式	RZ4E(総排気量1,898cm ³ (cc))
車両型式	NHR87
重量(kg)	2,060
車両総重量(kg)	3,425
最小回転半径(m)	4.4

道具をトラックに積んで植物のメンテナンスにまわるのが毎日の仕事。施工時には大量の植物を運ぶことも。



最小回転半径は 4.4m！
軽自動車なみに小回りが効いて
どんな現場へもスイスイ。





ハードカーゴと共同開発したキャリアは現場仕事での使い勝手もしっかり考えられている。前方には、様々な道具を吊り下げて必要なギアにサッとアクセスできるユーティリティパネル、その下にはスチール製の引き出しを搭載。「引き出しは掃除機とかバッテリーとか、濡らしたくない道具を入れておくのに便利です」。そして、池谷さんが気に入ったのはサイドパネル。「大きい植物は斜めに寝かして固定して運ぶことが多いので、ロープやフックを固定できる場所がたくさんあるサイドパネルは使い勝手がいいですね」。

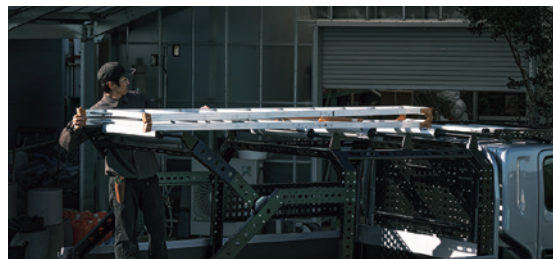


1 足回りはデカールでアクセントを加えたホイール、オフロード系タイヤ、フェンダーガーニッシュで無骨にスタイリング。2 トラック然としないモダンなフェイスのエルフミオが、ボディと同色のグリルやイルミネーションバンパーガーニッシュでさらに押し出しの強いフロントマスクに。3 大サイズの ISUZU ブランドロゴが堂々とした車両にマッチ。4 荷台はラバー塗装でツートンに。衝撃や摩擦に強い塗装だからガシガシ使い倒せる。5 フロント上部に並ぶ作業灯が強烈なインパクトを放つ。



可動式がミソ。長尺物もラクに積める。

車両サイズはワンボックスと同等ながらも、仕事道具の効率的な収納力は抜群だ。キャビンの上に設置されたルーフキャリアには、ギアコンテナなどを積載可能。また荷台に設置されたワークキャリア上部のキャリアバーを使えば長尺物を積み込むのも楽ちんだ。「このキャリアなら週末にはロングボードも楽々載せられますね」と池谷さん。荷台にソロテントを張ったり、キャリアを活かしてさらに自分でキャンプ仕様にカスタムしたりして、サーフトリップするのも楽しそうと妄想は膨らむ。



可動式のキャリアを後ろ側にセッティングすれば、脚立や木材など、かなり長尺な物も積載可能。「壁面緑化の現場では長い脚立を使うことが多いので、このサイズが載せられるのは助かる」と池谷さん。キャリアが可動式なので、荷台に乗り込んで積載作業がしやすいのもポイントだ。

運転は乗用車と同じ感覚。
トルクフルなディーゼル車だから
植物をたくさん積んでも安心!





**エルフミオの詳細は
WEB でチェック!**

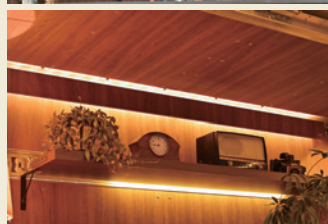
普通免許
で運転が
できる!

車両総重量3.5トン未満のAT車なので、AT限定の普通免許でも運転できるエルフミオ。シゴトにも趣味にも使えるカスタムのベースにいかが!?





ウイングを跳ね上げれば そこは極上のテラス席



上／ウイングの開閉は電動で操作可能。左右に大きく跳ね上がる。中／ラッシンググレールを活用すればテーブルやラックを自在に取り付けられる。下／LED間接照明がトラックの荷台とは思えない落ち着いた雰囲気を演出している。



上／豆はこだわりの自家焙煎、ハンドドリップで丁寧に珈琲を淹れるCoffee KOBAN店主の後藤尚久さん(coffeekoban.net/)。左下／ミルで豆を挽くと周囲に珈琲の香りが広がる。アウトドアには香りの強い珈琲が似合いそうだ。右下／店主お得意の自家製タルタル特製たまごサンドでランチタイム。

コーヒーマイスターのこだわり

アウトドアで味わう珈琲は豆選びがポイントです。私の場合、朝一番は中煎りのブラジルですっきりと体を目覚めさせます。午後は酸味の効いたイルガチェフェでリラックスタイム。ぜひ好みのテイストを見つけて楽しんでください。



く転換したのがエルフMUVだ。ビジネスからレジャー・ホビーへと可能性を發展させ、使う人のアイデア次第で姿を変えるマルチユースな使い方を提案している。内装を汎用性の高い木目調として、さらに間接照明を効果的に配置することで、限られた空間に奥行きとくつろぎを感じさせる仕上がり。荷物を積み込むだけでなく、人が快適に過ごすことも想定した設えだ。床面にはエアラインレール、側面にはラッシンググレールを装備し、用途に応じてさまざまなアイテムをアレンジできる。

「珈琲を淹れる時間も、景色も、



MUVは変幻自在! まさに動くガレージ!

壁面のラッシンググレールや床面のエアラインレールを使用すれば、装着できるアタッチメントは様々。バイクスタンドを装備して出なければ、行く先がガレージに大変身。まさにユーザーのライフスタイルを運ぶ1台となる。

全部ひくくめて味わいたい」。プライベートなカフェ空間で珈琲を楽しむのは、Coffee KOBAN店主の後藤尚久さんだ。その日の気分に合わせて選んだ豆をミルで挽き、ハンドドリップで丁寧に淹れた珈琲は格別の1杯だ。陽光や空気の流れを感じながら、自然の中で五感を開放することで、部屋で味わう珈琲とはまた違った新しい味の輪郭を楽しめるからだ。仕事と遊び、移動と滞在。その境界を曖昧にしながら、エルフMUVは新たなライフスタイルを人々に提案する。移動販売車などビジネスユースにも十分活躍してくれそうだ。

男の隠れ家 秘密基地 Version

自分だけの移動カフェ空間で 香り高き珈琲を独り占め

トラックのウイングが跳ね上げられると、そこは自然とつながる小さなカフェ空間だった。
いすゞエルフから生まれた「エルフMUV」が新しいライフスタイルを提案する。



ELF MUV (MULTI UTILITY VEHICLE)

いすゞエルフ



いすゞエルフのウイングバンをベースに、トラックの新しい使い方を提案するコンセプトモデル。ウイングバンとは、荷台側面が鳥の翼(ウイング)のように左右に大きく開く構造を持つトラックのこと。エルフMUVは、ビジネスシーンをスマートに演出する他、プライベートシーンでの趣味やレジャーにも幅広く対応し、トラックの可能性をさらに広げる1台だ。



ボディ下部にスカート類を追加するなど、街を走るトラックとは異なる“大人の秘密基地”感を演出するスタイリング。夜間はサイドマークイルミネーションやイルミネーションエンブレムが点灯し個性を主張する。

■車両概要

車名:エルフ 標準キャブ 車両形式:NJR88
免許区分:準中型免許(ナンバー区分1ナンバー)
重量(kg):3,240
寸法(mm):全長5,035 全幅1,890 全高2,730
車両総重量(kg):4,835
エンジン形式:4JZ1(総排気量2,999cm³(cc))
最小回転半径(m):4.4

自然の中で珈琲を楽しむ 移動式プライベートカフェ

ある晴れた日の午後、自然の中に1台のトラックが佇んでいる。ダークグレーの外装にカップ系アクセントを添えた落ち着いたデザインが、自然の中にも違和感なく溶け込んでいる。ウイングが跳ね上げられると、そこに出現したのはプライベートなカフェ空間だった。

街中の配送業務や建設現場の資材運搬など、働く小型トラックとして知られる、いすゞエルフ。その信頼性の高いシャシを土台に、荷物を運ぶ、移動手段から、ライフスタイルを運ぶ、楽しむ空間へと発想を大きく

移動できる秘密基地、隠れ家で愉しむ至福の時。

男の隠れ家

珈琲を味わうための
移動空間。
最高の一杯を求めて、
旅に出る——。



東京オートサロン2026出展車両

いすゞ エルフ

MUV
MULTI UTILITY VEHICLE